

データサイエンティスト育成コース

京都女子大学
データ
サイエンス学部
提供講座

受講料:2万円

定員:15名

POINT.1 身につく知識とスキル

本研修により、DXとデータサイエンスのそれぞれの特徴や立場を明確に理解することができます。また、データタイプに応じた正しいデータのまとめ方を身に付けることができます。最終的に関心のある対象にかかわることについて客観的な評価と検証が可能となり、課題解決や価値創造の糸口を探ることができるようになります。

POINT.2 学びをフルに活かしてみよう!

DX・データサイエンスの視点により自身や自社を見つめ直すことで社会における位置付けや現状を明らかにすることができます。また、データに基づく質の高いPDCAサイクルやOODAループの実践が期待できます。

研修趣旨・受講目的

本研修では、経済産業省とIPAが策定する「デジタルスキル標準」に基づき、DXの定義や必要性からDXの全体像までを把握することにより、自身や自社のDX推進のためのきっかけを提供します。また、DX人材であるデータサイエンティストに求められるデータを利活用するスキルの向上に焦点を当て、データドリブな課題解決や価値創造を図るための高度な能力を養成します。

※デジタルスキル標準とは…令和4年に経済産業省は「デジタルスキル標準」を策定し、個人の学習や企業の人材確保・育成の指針を示しました。本研修では、企業がDXを推進する際に必要な人材の1つである「データサイエンティスト」に欠かせない知識やスキルのうち、「データ活用」スキルについて学習することができます。

求める受講生

DXに興味関心を持ち、データサイエンスのスキルを体系的に学びたい方や、データの活用を通じて日々の仕事の効率化や業務改善を目指したい方

※本研修はノートPCをご持参いただく必要があります。

研修講師



京都女子大学
データサイエンス学部
准教授

林 邦好氏

研修講師からのメッセージ

前半では、DX・データサイエンスの概要や統計的アプローチの考え方について学びます。後半では、手元のデータから関心のある対象全体について評価・検証するための方法である統計的仮説検定について深く学びます。

日程	概要	事前課題	会場
7月5日(土) 8:50-12:05	デジタルトランスフォーメーション(DX)とは何か? ・ DXの定義や概要 ・ DXにおけるデータサイエンスの役割	経済産業省とIPAにより策定された「デジタルスキル標準」や「1冊目に読みたいDXの教科書」(荒瀬光宏著/SBクリエイティブ)の内容について予め目を通していただくことをお勧めいたします。	京都女子大学
7月19日(土) 8:50-12:05	データをわかりやすく要約・可視化する方法 ・ 統計学で登場する記号の意味 ・ データタイプに応じたデータのまとめ方		
8月2日(土) 8:50-12:05	データから仮説を検証する方法(1) ・ 統計的仮説検定の考え方 ・ ばらつき差の検定	必要に応じて適宜参考書等を紹介します。前回の講義内容を次回の講義までに復習していただきます。	
8月23日(土) 8:50-12:05	データから仮説を検証する方法(2) ・ 平均値の差の検定 ・ 割合の差の検定		
8月30日(土) 8:50-12:05	オープンデータを用いた演習 ・ データ分析の一般的手順について ・ 種々の演習と振り返り		

経済産業省とIPAによる「デジタルスキル標準」に基づくデータ活用スキルを体系的に学ぶとともに、ハンズオン形式の演習を通じて実務的な力を身に付けることで、自社のDXの取組の推進、さらには競争力向上にも貢献できる人材になることができます!

受講生Voice



- 統計学を身近に感じることができ、様々な業務に応用できると思いました。
- 未知の分野だったが、基礎からしっかりと学ぶことができた。

事前に受講しておきたい
KYO育tv.コンテンツ

KYO育tv.

- ・ Excel & Google Sheetsではじめる!ゼロから学ぶデータ分析入門
- ・ IT技術の基礎知識を身に付ける

